年間授業計画

足立東高等学校令和６年度（3学年用）　教科　国語　科目　文学国語

教　科：　国語　科　目：　文学国語　単位数：　４　単位
対象学年組：第３学年１組～６組
教科担当者：（い組：堀切）（ろ組：長谷川）（は組：和田）（に組：中西　高士）
使用教科書：（大修館書店「新編文学国語」）

【知識及び技能】 社会生活に必要な国語について，その特質を理解し適切に使うことができるる資質・能力を育成する。
【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，思考力や想像力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深め，言語感覚を磨き，国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。	「読むこと」において、文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わう。	進んで表現することで、国語力の向上を図る態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	単元：名作を読む（一） 【知識及び技能】 語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を分かるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 語りての役割や場面の展開に着目し、作品の構造を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、登場人物の心情の変化をとらえさせる。	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取らせる。 ・随想の構成をとらえ、筆者の考えを読み取らせる。 ・表現に注目し、小説での描写方法についての理解を深める。 村上春樹「少なくとも最後まで歩かなかった」 中島敦「山月記」	○	○	○	【知識・技能】 漢字の読み書きに慣れ、文の中で使っている。 文脈の中での文章の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 登場人物の心情を正しく読み取り、内容の解釈を深めている。 文章中の描写に注目しながら表現の特色について解釈を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味をもち、小説の構成や登場人物の心情の変化をとらえようとしている。	○	○	○	51
		単元テスト		○	○		○	○		1
2学期	単元：名作を読む（二） 【知識及び技能】 語彙を増やし、文脈の中での文章の意味を正確に分かるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、多様な表現に注目しながら文章の内容の理解を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に興味をもち、関連した事柄に対しても関心をもたせる。	・小説の構成をとらえ、登場人物の心情の変化を読み取らせる。 ・表現に注目し、小説での描写方法についての理解を深める。 ・小説の文章の展開の仕方や表現の仕方に着目し、文章表現を味わう。 夏目漱石「こころ」	○	○	○	【知識・技能】 漢字の読み書きに慣れ、文の中で使っている。 文脈の中での文章の意味を理解している。 【思考・判断・表現】 登場人物の心情を正しく読み取り、内容の解釈を深めている。 文章中の描写への理解を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作品に興味をもち、小説の表現方法に関心をもっている。	○	○	○	27
		単元テスト		○	○		○	○		1
	単元：古典の世界4 【知識及び技能】 古典を読むために必要なきまり、表現について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開を的確にとらえさせる。多様な表現を使用し、自己の内面を表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 古文を読むことに興味をもたせる。古典の世界についての理解を深めさせる。	・古文の読みに慣れ、内容を正確に読み取らせる。 ・歌物語から平安時代の世界観についての理解を深める。 ・作者のものの見方や感じ方について、自分の考えをもたせる。 源氏物語「桐壺」	○	○	○	【知識・技能】 古典を読むために必要なきまり、古典特有の表現等について理解している。 【思考・判断・表現】 作品の世界観に基づき、作品の内容を解釈している。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 古文を知識をもとに積極的に読んでいる。また、現代との違いなど古典に親しむ態度をとっている。	○	○	○	27
		単元テスト		○	○		○	○		1
3学期	単元：古典の世界5 【知識及び技能】 日本でも古くから親しまれていた漢文作品の思想やその影響力についての知識を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 訓点等の知識を活用し、漢文を読み、内容を正しく理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 漢文を読むことに興味をもたせる。「史記」に書かれている内容に関心をもたせる。	・漢文の訓読のきまりを確認する。 ・「史記」の内容を現代の日本語に訳することで理解する。 ・現代でも親しまれている理由について考えを深める。 史記「四面楚歌」	○	○	○	【知識・技能】 我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 古典を読むために必要なきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開などについて叙述を基に的確にとらえている。 作品の内容を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 漢文に興味をもち、漢文を読む学習に意欲的に取り組み、理解を深めようとしている。	○	○	○	32
										合計 140